

高総体健闘をエール交換

八戸市内7校と青森工

6月5日から主会期が始まる青森県高校総体に向け、八戸市内の高校応援団とチアリーディング部によるエール交換会が24日、同市三日町のマチニワで開かれた。今回は市内7校が結集したほか、初めて青森工業がリモートで出演。自校の士気を高めるとともに、互いの健闘を願って声を張り上げた。

各校の交流と技術向上を目的に毎年実施。44回目となる今回は、市内から八戸工、千葉学園、八戸聖ウルスラ、八戸工大一、八戸工大二、八戸、八戸学院光星の7校が参加した。

この日はそろいの学ランで登場した八戸工を皮切りに、各校の校歌やオリジナルの演舞を堂々と披露。はかまやチアリーディング姿の女子生徒も交え、息の合った手ぶりや大音声のかけ声を響かせたほか、互いの

健闘を願うエール交換も行った。来場した市民からは盛大な拍手や歓声を送られた。千葉の応援団長を務める3年大沢瑠々果さん（18）は「選手に声が届くよう、8人全員が大きい声を出すことを心がけた。同級生や後輩が各種目で活躍できるように、少しでも力になれば」と本番に向けて意気込んだ。（井上周平）